

報

町方伊

発行所
伊方町
愛媛県西宇和郡伊方町湊浦
〒796-03 伊方局38-0211
編集課
豊豫社
印刷所
豊豫社
八幡浜市松柏 22-0144

今月の紙面

二面……水道整備急ピッチ
トランプは検査審査会へ
三面……ゲートボール大会で優勝
民話と伝説「平石峠の由来」
健康の窓(あたりまえ)
シートベルト減点対象に
歳時記「落葉」

見発見とさるふ

盛んな小型底びき網漁

八幡浜の中型トロール漁業に対し、本町では五ト未満の小型トロール漁業が盛んです。中心地は豊之浦で、許可総数六十四隻のうち六割以上を占めています。

小型トロール漁業の正式名称は小型機船底びき網漁業です。本町では豊之浦を中心に六十隻が県の許可を受けています。瀬戸内海側が十四隻となっていて、昭和二十年ごろだといわれています。当時漁業の中心だった帆打瀬網漁が不振とな



水揚げしたばかりの魚をより分け、ト口箱に並べる漁師さん(豊之浦)

り、この船や技術をうまく利用して小型機船底びき網漁に切り替わって行ったようです。一隻に通常三人が乗り組み、朝早く出漁して夕方帰ってきます。この間、四・五回網を入れるそうです。好・不漁が激しく、二隻並んで網を引いても両方同じに取れることはなく、技術とカンが要求されます。

五ト未満の小型

十五ト未満の漁船によって行っ底びき網漁業で、本県では全船が五ト未満である。網を入れ、海底付近を引っ張りながら魚を取る。

この漁法の起源は定かではないが、八西地域の底びきに初めて機械船が登場したのが大正十一年のこと(ただし二ト未満)。小型機船底びきも、この前後と思われる。昭和十年ころになると急速に広まり、戦中戦後を通じて盛況を呈したが、漁業調整及び資源保護などで昭和二十六年から三カ年にわたって減船整理が行われた。

宇和海では、四十三年になって県が水産庁の承認を得て規則を改正し、再び許可になった。漁船は五ト未満で十五馬力と二十五馬力以下の二種類。エビ・エソ・ハランボなどを水揚げし、主にくずし(てんぷら・かまぼこ)の原料に用いられている。

現在、町内の許可隻数は六十四隻。伊方町漁協四十五隻、町見漁協十九隻(宇和海五隻、伊予灘十四隻)となっている。地区別では豊之浦が最も多く四十一隻となっている。

議会だより

第126回定例

町誌発行費など追加

一般会計

総額38億円に

◎昭和六十一年度一般会計補正予算(第四号)

歳入歳出それぞれ八千五百八十三万円が追加され、総額三十八億八千七百六十三万円になりました。

主なものは、伊方町誌の改訂版を発行する経費に一千万円が認められました。発行部数は三千部で、今年度末の発行を予定しています。またおとり号が古くなったため四十二人乗りのスクーターバスも一台購入します。

総務費

町誌改訂版発行費 一千百万円
地区自治活動促進費 小中浦……七百万円

民生費

老人憩の家設置補助(河内) 七百五十四万円

衛生費

八西衛生事務組合負担金 一千四百四十八万円

農林水産業費

農道開設補助(十五路線) 五百六十五万円
農業水利推進補助(中之浜・川永田) 六百万円

土木費

道路維持補修費 四百九十二万円

教育費

スクールバス購入費 六百万円

災害復旧費

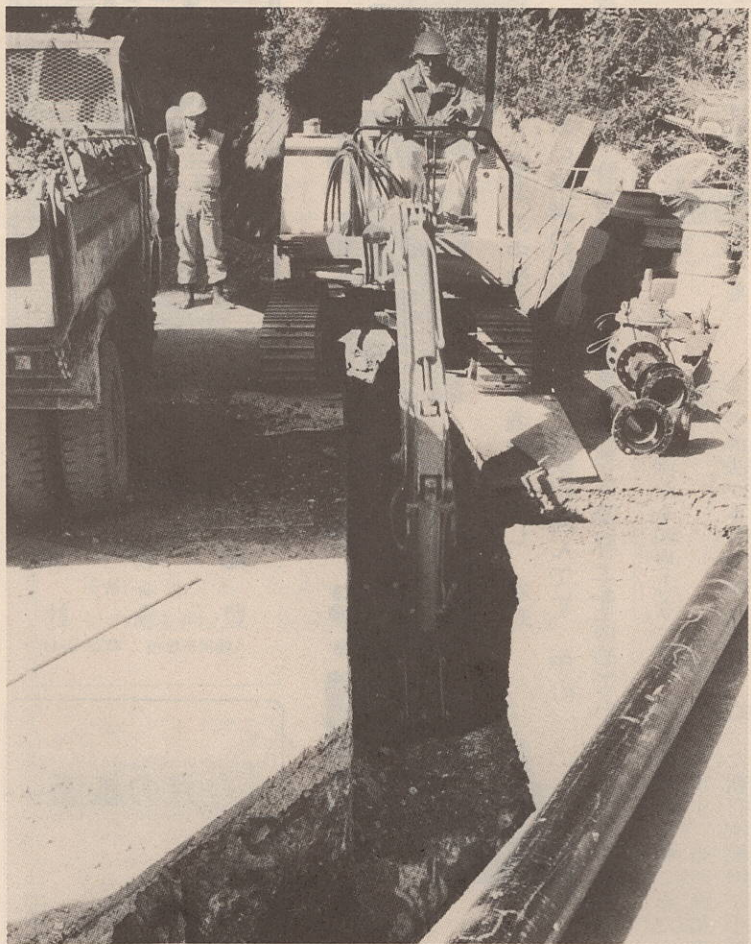
伊方越老人憩の家災害復旧 百九十九万円

◎固定資産評価審査委員会委員の選任
任期満了に伴う固定資産評価審査委員会委員に、山口兼夫氏(河内)が再選されました。任期は三年です。

◎教育委員会委員の任命
任期満了に伴う教育委員会委員に、栗田龍彦氏(川永田)が再任されました。任期は四年です。

◎固定資産評価審査委員会委員の選任
任期満了に伴う固定資産評価審査委員会委員に、山口兼夫氏(河内)が再選されました。任期は三年です。

水道施設の整備急ピッチ



国道や町道など、町内のあちこちで行われている水道工事

工事にご理解とご協力を

今年度末で全体の7割完成

水はさまざまな分野で、わたしたちの生活を支えています。ところが、水源に乏しい本町では、昔から農業用水をはじめ、飲料水の確保にさえ悩まされ続けてきました。

昭和四十二年の大干ばつを契機に、四十九年から国営南予用水事業が始まり、本体工事や受け入れ施設の整備が着々と進んでいます。本町分の水道関連施設は六十三年三月には完成の見通しとなりました。

その後一年あまり各種試験が行われ、六十四年四月から待望の野村ダムからの水が利用できそうです。

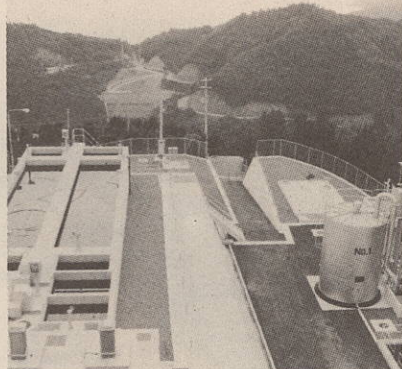
現在、こうした施設整備工事が町内のあちこちで行われています。ご理解とご協力をお願いいたします。

南予用水の受け入れに伴い、昭和六十三年三月までには有来地区を除く町内全域の施設整備を行います。総事業費は十六億二千六百万円が見込まれています。

完成しますと、伊方上水道九町地区簡易水道、二見地区簡易水道、亀ヶ池地区簡易水道

63年3月には完成

16億円あまり見込む



浄水場は完成

南予用水企業団の伊方浄水場が川永田赤峰(標高230m)に完成しています。

この浄水場は、伊方調整池から原水を取水し、ろ過したのち飲料水として町内の各配水池に送水するものです。

町では、飲料水が不足すると、そのつど、この施設から必要水量を買い入れます。町内の受け入れ水量は日量最大1,980tの計画です。管理棟、ろ過装置などがあり、伊方調整池が完成しますと企業団職員が常駐することになります。

水源

南予用水からの受水が始まり、一日最大一千九百八十トンの受け入れができます。

受水施設の南予水道企業団の浄水場は、すでに川永田に完成しています。ここから一度受水槽に受け、湊浦・豊之浦・九町・平石の各配水池に分水することになります。

しかし平常時は、現水源(湊浦・川永田・九町・亀ヶ池)を利用し、不足分を南予用水から補充します。現水源の水量は全部合わせて日量約一千五百トンあまりです。

送水施設

ポンプ室や操作室を新設するとともに、送水管を大きくして(最大二倍)布設工事を行っています。

すでに半分近くの十一キロが完成しており、残る約十二キロも今年度末には完成の予定です。

配水施設

配水池は町内八カ所に新設します。すでに湊浦と川永田など四カ所は完成しており、今年度は九町など四カ所を整備します。

配水管は、町見地区の約二十四キロがほぼ完成。伊方地区も約二十九キロが完成し、今年度は残る河内地区(約二・二キロ)と石見地区(七〇キロ)を整備します。

伊方調整池

国営南予用水事業のうち、川永田に建設中の伊方調整池の工事が急ピッチで行われています。

伊方調整池は、瀬戸・三崎方面への分水量を調整するために設けられるものです。堤高二十九m、堤延長百八m規模の重力式コンクリートダム。総貯水量は十萬四千t(有効水量八萬九千t)です。

昨年の二月に着工して、現在コンクリート打設の最中。進捗率は五〇%で、六十二年一月の完成を目指しています。

完成後一年あまりかけて、貯水試験や周辺整備が行われ、六十四年四月には農業用水や上水道用水として利用できるようになります。

トラブルのご相談は

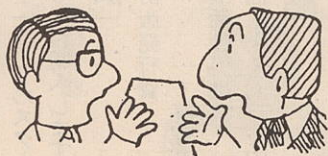
気軽に検察審査会へ

へご相談ください。交通事故だけでなく、詐欺とか窃盗、おどしなどすべての犯罪についても同様です。費用は一切いらず、秘密は守られます。お気軽にご相談(秘密厳守・無料)ください。

検察審査会は、選挙権を有する国民の中から選ばれた十一人の検察審査員が、検査官が事件を起訴しなかったこと(不起訴処分)のよしあしを審査することが主な仕事です。

大洲検察審査会は大洲市大洲八四五・松山地方裁判所大洲支部内(〇八九三二四二〇三八)にあります。

交通事故で被害を受けたのに、加害者は処罰されなかった。つまり警察・検察庁で調べをしたが、不起訴処分になってしまった。どうしてもなっとくできない。でも、これをだれにどうしてもらったらよいか判らない。こんなときどうしたらよいでしょうか。検察審査会



申し込みは早め

11月9日(日) 歩け歩け運動

恒例の歩け歩け運動を十一月九日(日)に九町越公園を折り返すコースで行います。多数ご参加ください。

出発コースは役場前のほか、町見支所前、二見小学校前なども予定しています。小学生は学校を通じて、一般のかたは十一月四日(火)までに役場総務課へ申し込んでください。

小学三年生以下は原則として父兄同伴といたします。



民話と伝説

取材先/古屋敷 補作/岡村豊
挿絵/山本一路(湊浦)

38

平石峠の由来

大成うね

これは、ええ眺めじやのう。あれが「亀ヶ池」よのう。あれしこが「加周」か。ほいて、この下はどこならよう。あれは「古屋敷」ですら。そうかな、なるほど。先達ての七日に、二見(平石峠)から瀬戸町の塩成まで、国道バイパスが通れるようになった、便利にはなるし、よくなったのう。

この平石峠には、歴史があります。九町の一里塚から二見本浦の上を通って、この峠から、さらに西の佐市越を越えて三机に通じる「おうかん(古くはオウケンとも)街道」じゃってな、所々に、宇和島藩のお殿さまが、お駕籠で、おうかんを行き来しなはった時に、駕籠を止めて休みなはったという「お駕籠場」

が今も残っておりますので。昔のお駕籠が、今におき、法通寺と天徳寺に大切にたもたれてあります。百聞は一見に如かず、で、おりがあつたら、いっぺん見せてもらいなはいや。お殿さまが、お駕籠を休めなはったおりに、里人が茶の湯をたてて差し出したことかな、「殿様川」「お茶の川」と呼んでいる所もありません。

村の庄屋にも、お駕籠の休場が設けられておったそうです。二見、加周から鳥津、大成への生活道路とも結ばれておってな、昔は、徒で平石峠を越えておったのが、大正九年に大成・鳥津線、昭和三十六年には、加周から大成間の四二号線の道ができて、自動車が行けるようになった。その平石は、結晶片岩のうちの、緑れん石じゃそう



わかつとや。この平石があるけん、平石峠ということよな。昔は、この峠にも茶店があつて、往来する人がよう入りよつた。大洲に、大洲富士といつて、花の時期になると大勢の人で賑わう富士山が、ありましょが。あの頂上に登ると、原始・古代期巨石崇拜の遺跡とみられる大小二つの巨石があつてな、座禅石ともいふと、巨石の由緒を書いた看板も立つとりますら。檜も差してあるので、何んぞお墓のようにも見えました。おそらく、昔は、峠の平石も巨石崇拜されておったのじゃなからうか思ひますら。いづれにせよ、平石峠の由来の石が見つかったことは価値のあることではあらう。

協力者: 二宮 一さん(加周)、久保高則さん(古屋敷)、松本普一さん(古屋敷)

こんなすばらしいことをみんなは、決して喜ばない。そのありがたさを知っているのは、それを亡くした人たちだけ。なぜでしょう。あたりまえ。



まず、第1ゲートの通過を目指す出場選手

町老人クラブ連合会(浅田巖会長)主催による第一回ゲートボール大会が、十月十二日

に九町小学校グラウンドで開かれました。町規模の大会が開かれたの

第一回町老連ゲートボール大会

畑Bチームが優勝

は今回が初めてとあって、十六チーム、百十九人が参加。午前十時に西Aチームの松田正徳さんの選手宣誓で始まり、終日熱戦が繰り広げられました。大会は九町地区が上位を独占。決勝戦では畑チームどうしの対戦となり、わずか一点の差で畑Bチームが初優勝に輝きました。

この競技は、スティックと呼ばれる木槌でボールを打ちながら三カ所のゲートをくぐると点数が与えられ、最後に

大会成績

- 優勝 畑Bチーム
- 準優勝 畑Aチーム
- 三位 奥Bチーム
- 四位 西Aチーム

なかなか大変ですネ

川永田で1日保母運動開



紹介を受ける三人の一日保母さん

川永田保育所で九月十五日に「一日保母運動」が行われました。一日保母には福田八代子さん(町長夫人)ら三人が選ばれ、梶原所長に紹介されたあと、それぞれのクラスに分かれ約一時間半にわたって子供たちと楽しい一時を過ごしました。この運動は、保育所を広く理解してもらおうと西宇和郡保母会が開いたものです。

健康の窓

健康の窓は、皆さんが開けなければなりません。保健センターでは、そのお手伝いをしたいと考えています。

あたりまえ

あたりまえ。こんなすばらしいことをみんなは、なぜよこばないのでしょうか。あたりまえであることをお父さんがいるお母さんがいる手が二本あつて、足が二本ある

これは数年前に映画化された「飛鳥へまだ見ぬ子へ」の作者、井村先生の書かれた詩の一つです。現在、わが国の平均寿命は男七十四歳・女八十歳と、世界でも指折りの長寿国になってきました。死亡の原因は、がん・脳卒中などが多くなっていますが、町内でも同様のことがいえるようです。中でも脳卒中は毎年十数人の発症があり、発作後すぐに亡くなる人もいれば、命は取り止めても手足や言語などに障害があり、あたりまえの生活ができなくなった人もいます。

保健センターでは、こうしたかたがたの機能回復を目指し、二年前から「リハビリ教室」を開設。宇高先生をはじめ、八幡浜市立病院の三俣先生(理学療法士)の協力を得、機能訓練や集団体操、レクリエーションなどを行っています。

あたりまえであること、すばらしさを、失くしてから気付くことのないよう、みんなが元気で長生きできるように努めましょう。

歳時記

落葉

「垣根の垣根の曲がり角、たき火だたき火だ落葉たき、あたらうかあたらうよ、北風ピーブー吹いている……」

落葉というと、幼い日に口ずさんだこんな歌を思い出す方もいると思います。

もっと古いところでは、紅葉をたいて酒をあたためる、という風習もあります。

細長い日本列島のことゆえ、もうとっくに紅葉が終わって、葉が散ってしまったところもあれば、まだ紅葉が始まらないところもあると思いますが、いずれにしても、落葉はものあわれを感じさせます。

でも、昔と違って、最近では落葉でたき火をしてあたたたり、その中で焼きイモをして楽しむことは少なくなりました。ことに都市化した地域では、うっかりたき火をしたりすると、消防車が飛んで来てしまうことさえあります。

火災と間違ふような煙、または大きな炎を発生する行為はあらかじめ消防署などに届けなければならないと決められているところもあります。

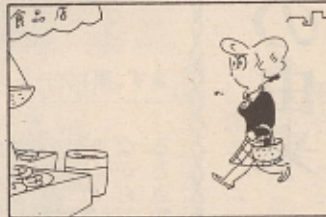
それにしても、たき火は、たばこの火、コンロの火を抑えて、火災発生原因の1位になっています。

これからは火災の多いシーズン。毎年11月26日から12月2日までは、秋の火災予防運動の期間となっています。今年の全国統一防火標語は「防火の大役あなたが主役」です。一人一人が主役になって注意しましょう。



さわやか君

西村 宗



道路交通法施行令の一部改正が十月九日の閣議で決定され、シートベルトの着用範囲拡大と反則金の引き上げなどが決まりました。

反則金も4月から

来年四月一日からは交通違反の反則金が、最高二五倍に引き上げられることになりました。

普通車の場合でみますと、二十キロ以上二十五キロ未満の反則金は、最高二五倍に引き上げられます。

シートベルトはこれまで、高速道路で運転席だけが取り締まられていましたが、今回の改正で高速道路での助手席、一般道路の運転席と助手席の前後座席すべてが一点の減点対象となります。

反則金は、最高二五倍に引き上げられます。反則金の改正は、制度が始まった昭和四十八年以來十三年ぶりのことです。

着けていないと減点 シートベルト11月1日から

者にかかります。

施行は十一月一日からです。車に乗ったなら、シートベルトの着用を忘れないでください。

のスピード違反では五割アップして一万五千円(現行一万円)に、禁止場所等の駐車違反は二倍以上の一萬二千円(現行五千円)になります。

また、一時停止違反の場合七千円(現行五千円)になります。

町内の交通事故 10月1日現在
発生件数 45件 (9月...2件)
負傷者数 15人 (9月...0人)
十月七日から新国道二見(平石峠)―瀬戸町塩成間の四・三キロが開通しました。これで町内の区間はすべて工事が終わり、道幅の狭い曲がりくねった国道(通称「酷道」二九七線)は一変しました。

働く前・雇う前に 労働条件の確認を

仕事と家庭生活を両立させたい人にとって、パートタイム労働は、とても働きやすい形態。それを反映してか、パートタイムで働く人は年々増える傾向にあり、六十年では全国で約四百七十一万人。全雇用者数の一・一割を占めています。

このうち女性は約七割を占め、その大半が家庭の主婦層となっています。しかし気軽に働けるというパートタイム労働には、「パートタイム労働者にも労働基準法等労働関係法令が適用されることを再認識し、明るい職場づくりを目指したいものです。」

自衛官募集

防衛庁では、二等陸海・空士の自衛官を募集しています。試験や手続きなど、詳しいことは愛媛地方連絡部大州募集事務所(〇八九三―二四―四一―二三)までお尋ねください。

人の動き

人口 8,585人 (男4,189人(+4人) (+11人) 女4,396人(+7人))

えんむすび

昭和61年8月1日 8月31日

お誕生おめでとう

よい子に育ってください 昭和61年8月1日 8月31日

おくやみ

昭和61年8月1日 8月31日

人権コーナー

無関心それが差別のもととなる 田中英行(伊方中一年) この標語は、昨年度町人権擁護推進協議会が募集した人権作品の標語部門で「協議会長賞」に選ばれたものです。

魔の薬には 手を出すな! 「疲労回復に効く」「強精剤」というのは真つ赤なウソ。麻薬・覚せい剤は、あなたの人生を台無しにします。 麻薬・覚せい剤撲滅運動 10月1日〜11月30日



こちら編集室 伊方町誌の改訂版が、来年には発行されることになりました。現在、執筆の最終段階になっており、もうすぐです。本紙でも、コーナーを設けて中味の一部を順次紹介する予定です。改訂版は、現在のも

死亡者 年齢 住所